

符号管理の集約条件とは？

どこまで見て同一形状かの条件を設定します。

例) 柱の符号を、工区が違ってても同サイズ同材質なら同じ符号名を振りたい。

集約オプションの集約条件 **【工区】** の を外してください。

工区の を外すことで、工区の認識をしなくなるので、同じ形状の柱は同一グループ番号が同じになり、同じ符号名が振られます。

※基本的に**【部材名】**は をいれておいてください。

を外すと、部材名が違う同サイズ同材質の鋼材を同一グループ番号にしてしまいます。

集約オプション 柱

集約条件
集約の条件となる項目に、チェックを入れてください。

工区 ガセット番号 二次部材番号 母屋・胴縁番号 ドーブチ番号
 階 分類 グループ 塗装 建方 出荷 型紙図番
 部材名

全選択 全解除 入替え

※ドーブチ番号はドーブチデータを参照するため、ドーブチデータを作成していないと集約に反映しません。

スタート 柱 コア単管 梁 ブラケット プレース かさ上げ材 胴縁

データ数: 16/16

No	種類	工区	長さ	サイズ	同一グループ番号
1		A工区	3455	□-300×300×19	10
2		A工区	3455	□-300×300×19	20
3		B工区	3455	□-300×300×19	20
4		A工区	3455	□-300×300×19	30
5		A工区	3455	□-300×300×19	40
6	本柱	B工区	3455	□-300×300×19	20
7		A工区	3428.9	□-300×300×16	50
8		A工区	3428.9	□-300×300×16	60
9		B工区	3428.9	□-300×300×16	70
10		A工区	3128.9	□-300×300×16	80
11		A工区	3128.9	□-300×300×16	90
12		B工区	3128.9	□-300×300×16	100



同一グループ番号とは？

同一形状の部材に自動的に振られる番号です。

集約条件のチェックによって、同じ条件になれば、同一グループ番号が同じになります。

例) 柱の符号を、工区・柱ガセット・二次部材の取り付けなどは見ず、長さで端部形状が同じ場合は同じ符号にしたい。

集約オプションで**【部材名】**にのみ をいれてください。

集約オプション 柱

集約条件
集約の条件となる項目に、チェックを入れてください。

工区 ガセット番号 二次部材番号 母屋・胴縁番号 ドーブチ番号
 階 分類 グループ 塗装 建方 出荷 型紙図番
 部材名

スタート 柱 コア単管 梁 ブラケット プレース かさ上げ材 胴縁

データ数: 12/16

No	種類	工区	長さ	サイズ	同一グループ番号
1		A工区	3455	□-300×300×19	10
2		B工区	3455	□-300×300×19	10
3		B工区	3455	□-300×300×19	10
4		A工区	3455	□-300×300×19	10
5		A工区	3455	□-300×300×19	10
6		A工区	3455	□-300×300×19	10
7	本柱	B工区	3428.9	□-300×300×16	20
8		A工区	3428.9	□-300×300×16	20
9		A工区	3428.9	□-300×300×16	20
10		A工区	3128.9	□-300×300×16	30
11		B工区	3128.9	□-300×300×16	30



基本的に全て が無い場合は切断寸法(長さ)と端部形状のみの集約となります。

したがって、 の数が多いほど符号名が分かります。

今回は**【部材名】**にのみ を入れているため、部材名と切断寸法、端部形状のみをみて同一グループ番号を振っています。